

## 調査検討の背景

- 地域の安心・安全の向上や地域の活性化を図るために利用されている地域振興用システムのデジタル化について検討。
- デジタル化により周波数の有効利用が図られるとともに、海上利用においてもGPSによる船舶の位置確認やセンサーを利用した海水温度等のデータ伝送も容易となり、安心安全はもとより、水産業などの地域産業の発展を支援。

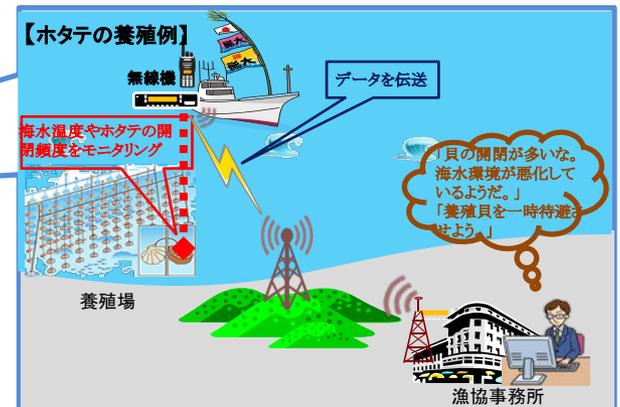
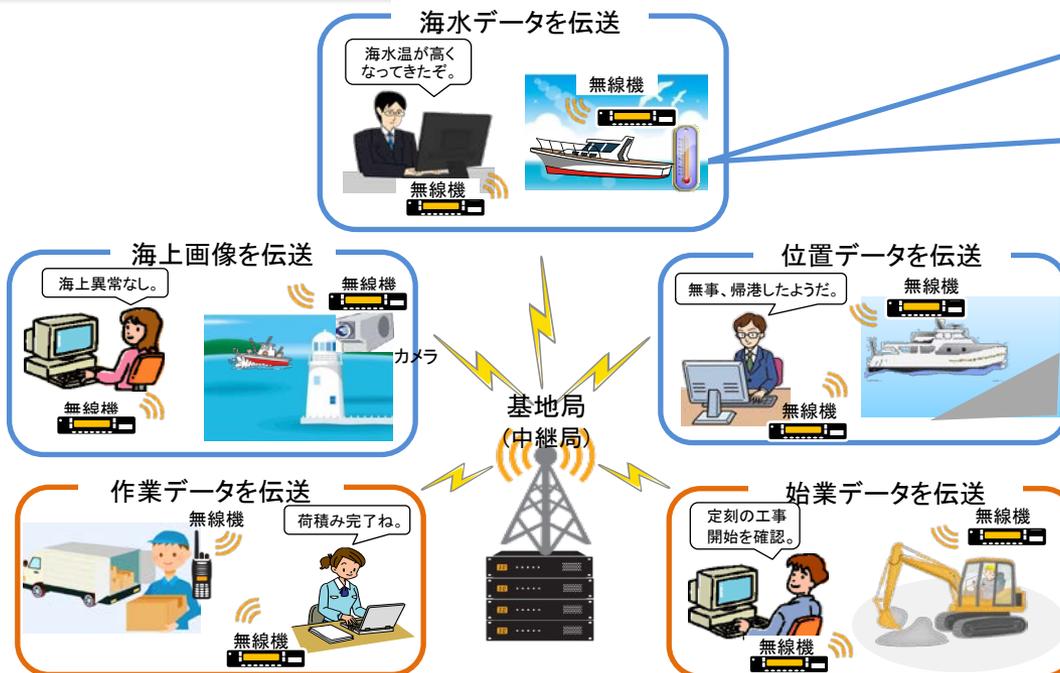
## 主な調査検討項目

- ①地域振興用システムのデジタル化モデル(需要予測、必要チャンネル数 等)
- ②海上利用の検証(ホタテ養殖が盛んな青森県陸奥湾をフィールドに通話エリア等の検証)
- ③デジタルチャンネル配置案の作成(狭帯域化によるチャンネルの適正配置 等)
- ④技術的条件(案)の取りまとめ(変調方式・占有周波数帯域幅 等)

## デジタル化の主なメリット

- 周波数の狭帯域化による多チャンネルの確保
- 電波の弱い場所でも、音声は明瞭
- GPS機能により位置の把握が容易
- センサー等を利用したデータ伝送が容易
- メールやショートメッセージの利用が容易
- グループ通信の設定が容易 等

## デジタル地域振興用システム利用シーン



【センサーを使用した活用例】

※デジタル化により映像やデータ伝送が容易となることから、利用範囲が広がる。